



熊野町立熊野第一小学校  
令和元年11月21日  
校長 栗原 築波

# 学年一丸 千一ム熊一子

## 11月16日（土）学習発表会



先日の学習発表会には多くの保護者や地域の方に参観していただき、盛大に開催することができました。皆様、ありがとうございます。学校長鑑賞、児童鑑賞と発表を重ね、本番では最高の発表ができていました。子ども達がこんなに輝ける発表会ができたことを、うれしく思うと同時に、家庭において保護者のみなさんが支援をしてくださった賜だと思っております。ありがとうございました。



## 広島県ユネスコ ESD 大賞の受賞

★ESDとは**E**ducation for **S**ustainable **D**evelopmentの頭文字をとった言葉で、日本語では「持続可能な開発のための教育」というふうに訳されている教育用語です。

簡単に言うと、「子どもたちの未来を見通すとき、私たちは世界の人々や将来世代、また地域・環境と関わりあって生きていかなければならないことを認識し、自分の生き方を改革していく必要がある」そのための教育をESDと呼びます。

ご承知のように、本校は平成25年からユネスコスクールに加盟しています。（加盟テーマ：文化と伝統「筆文化」）、その取組は「総合的な学習の時間」を活用して、6年生の和太鼓「筆が舞う」の創作や4年生の「筆おどり」の継承など、熊野の伝統や文化を大切に、熊野に生まれ、熊野で育つことに誇りをもたせることを重点としてきました。ESDとしては、さらに5年生で「命を守る防災教育」、6年生で「世界とつながる国際理解教育」を実施しています。こうした、本校の取組が評価され、この度「広島県ユネスコ ESD 大賞」を受賞することとなりました。熊野の地域の方々にあたたかく見守られ、素直に育っている本校の児童は本当に幸せだと感じます。これまで地域テーマ募金へのご寄付など、本校へのさまざまなご支援・ご協力本当にありがとうございました。これからも、子供たちの教育のために精一杯がんばっていききたいと思います。